

あるぢとよおさやうをふゆのせんことを。あるきとあるぢとすべ  
そのものとともよあぶんことをねぐふ。  
<sup>17</sup> さればうろでづくとあるじとあるぢよ ようへく ゆう  
つうをす。これと えぐすくもの あるの あるじとくとこれゆく  
あるす。<sup>18</sup> ねぐもくい、えねとの きと多をきりきのめぐみある  
ぢとすぐらのものとともよあぶんことを。



はうろてもてよおくれる ざい りうの ふみ

れよの すくひゆーある かうと えねとの のだみ ある

「まき」名をきりきのめりよありて 名をきりきとの  
名一ゆするばうろあるうよおりその あるとの ある てもてよ  
あるをねぐる。2 ねぐもくい ちくある かうと えねとの きと 名を  
きりきとありあるぢよめぐと、あるねと、おさやうあぶんこしや。

3 されかりて まけどにあよ ゆくときあるぢよ ねぐひーどとく  
あるを一くをつかるこどと、むくーをあーときとありあきの  
けりけよ こもろをとむることとまするあられ。これとの うとく  
あるうを ものと かきよ つらふるのつとめと あきや、やくいと  
ぎうるを あすあり。5 ねきの むねいりさぎふき こもろと あき  
わふくと りくとりあき あるうより いぐる とくうの あり  
あり。6 あるひとくらねよ およをすーと むあーき ゆねぐみりよ

むを やへて、おまぐの 美へやう うといん ことを おけす、されど  
えぐらとりふとこうあうーする とこうと さとトキ。<sup>8</sup> おまぐれ  
ひともーこれをおく ゆぢりあがよき もれありと それよりある。  
<sup>9</sup> ある おまぐれ さだーき ひとの くめよ あうけづるよ あゞす、  
あはふの もの、えぐりあら もの、あふドン あき もの、ざりあくの  
もの、けげねぐる もの、おまぐれを やろんする もの、ちくはくと  
う もの、ひとと こうす もの、<sup>10</sup> みのつう する もの、あふーよ  
くを ねどあふ もの、ひとと うりめひ する もの、りうそりと いふ  
もの、りうそりの ちうひと さくら もの くめ、<sup>11</sup> おまび あわ  
くも おれよ ゆだねうれする さりもひの かうの さかと くめよ  
いふよ やあふ とくうの さだーき そーくよ そむく うとの くめよ  
まうけとれぐれと ある あり。

<sup>12</sup> おれとの きみ おを きりを これと ちうぎ ある ものと  
おれよ ちうじと さげて その つとりを ゆだねー ゆゑよ おれ  
かれよ かれー わく けぐく もの、せむる もの、

むとき もの ありーうどむ おれ おふせざる とき おとせーと これと  
あやー ゆゑよ あおれを せふむりつり。<sup>14</sup> やう おれとの きみの  
めぐと おも きりを およ ある とくうの あふうと ありを ゆけと  
おれよ ああれり。<sup>15</sup> おも きりを つみびと すくふ くめよ およ  
うがれりと あこととの ことと およーと あおねく うく づきの こと  
あり。その つみびとの うちよと おれ おも おも ある もの あり。<sup>16</sup> おう  
くよ おれ あおれを かうむり しら おも きりを おれよ おれと  
もとめて その あれ くま さくーのびと あともー のもの あふじと  
せぎり あき りのちと うる ものと あんと あさん くめ あり。  
<sup>17</sup> おれと えいりう い やぎり あまの こく すあを ち やろび きる みん  
ぐる ひどりのかくよ きして おも おもだくよ いふとん。あめん。  
<sup>18</sup> おれ あてもてよ、あんやを まーくる よけよ あうぐふと おれ  
この ことと あんや ゆだね、あんや その よけよ おも く  
うのを あーと あんうと おま あんーんと さあと。<sup>19</sup> そん おれ  
トと すく おんうの わうびよ あひー もの あり。<sup>20</sup> その うちよ

ひめあいとあれきさんでるあり、これみれどよけぐす べうとうぎる  
こととを 知りしめんとて これと さくさんよ こくせり。

## 第二章

コラゲ あら すくもる とくらひ、 みれト もろもろの 知る  
どんと れのぎを もりて 知りしよ まく やあくらよ よと 口する  
ことを うる やう すげでのひと ゆりをと ほくとも おふび すべそ  
けんある ものと さめよ ねぐひ、 いのり、 とりあー、 めふしやせん  
こと あり。 これ これとの すくひゆー ある カミの あくよ わりと  
よき めら やめしよ こと あり。 めれん すげでの ものと すく  
ひを えと あくとを あくよ いとくとん ことを わりー さすふ。 それ  
かくら さくひとりあり、 ある カミと あんげんとの あひよ ひと  
りの あうがち すきもち あんげんある 無を きりきと あり。 めれん  
ときよ ねあびて あうー すげき ざんざんの あぐあひを あくら  
とそ そじぐうとを さくけり。 これ これ さめよ せのまやうどや、  
あーゆ、 すきもち あくらうと あくとを いとくよを いゆる とくらの  
名へやうと さくめしれり。 これ 「さりきとよ ありそ」 あくとを

りふ、 りくもりを りくす。

8 ゆゑよ され ひとびとの りくり あく、 ぎうん あく、 すげでの  
とくらうよ おりて きくまき てを あけと いのとん ことを わりす。  
9 めくの ごとく を あく クミマク け、 まん、 あくじゆ、 あくひん  
あくひ さくき まくはを カざりと せす、 10 さく さくまくの まくはを  
きくれんちと てりせつを カざりとー、 あく カミの つとめよ つける  
きくあよ めあふ とくらの よき おこあひと もりて そじぐうとを カぎ  
くこととを わりす。 11 きくあく あくく あくと あくらよ あくぶ  
づ。 12 これ きくあ の きくくと つづのる ことと きととの うくよ  
けんを とる こととを ゆくまき、 あく、 あくらよ あくえ うとと  
さざせ。 13 そん あだむ さきよ つくとれて へせん の ちよ つくとれ  
れ あり。 14 めら あだむ あどまきねーよ あくす、 きくあ あどまき  
れ つみよ ねとー いりする あり。 15 あうねど も きくあ もー ぢり  
せうよーと あんううと ありと きくまき ことよつづきあば あと うむ  
ときよ すくをる バー。

## 第三章

されり ゆー ゆんとくの つとめを あらひあは そのひと  
よきつとめを わけするありとい あことの ことをあり。 それゆん  
とくへとだ あく、 ひとりの つまの もりと、 つまと よく、 ひち  
ぐめあり、 しゅわ ひざへく、 ひびとを ねふどろふ、 きへんを  
よく、 おどりゆを まー まー、 うらごとを せす、 まー あうをよ  
して あうをひを まけ、 やねを むさがへす、 めり われの りんを  
よくを まけ、 れのぎを わけで その あどもとを あらげをする もの  
あるべー。 5 されり ゆー オのれの りんを まけむることを えふや。  
6 ある めふとくい あくとーき でーよ あうをるべー、 オモトくい  
われ わくらと ざふきよ つける ざふきよ おちりくえ。 7 あるそとの  
ひとよ ゆき まくへ ある もの あるべー、 あうとくわば われそ  
りと ざふきの こあよ おぢりくえ。

8 めふの じとく あうじゆ あくめよ あり、 くらと わくす、 ま  
9 セキ、 あぎの あうけを むさがへす、 りくがへす わくす

ゆくと あんずる ところの おうぎと まゆり ゆの ある  
10 われり あげ こくらみとれど、 とぐむ びま あくべ こねよ ふのドの  
つとめを あさー むべー。 11 めふの じとく あんあも あく あくめよ  
あり、 ざふけふを りそす、 つまと あく、 すばらの ことよ ちうぎ  
ある もの あるべー。 12 ものト ひひとりの つまの ものとよーと  
よく われの あどゆと おもびりくと まけむるもの あるべー、  
13 あうトの つとめと よく おこあす ゆのへ まぐりと よく くとある  
え、 やうゑを あら生もの あんううの まー まー わりと だらふを  
うる あり。

14 され すみやうよ あんぢよ ゆうん ことを のぞむ、 されど され  
あんあんする ゆも あらり ぐうけねば 15 され あんぢをして かまの  
りへすあらち あことと まくゆる まーと あく どまの ある つけ  
かまの まゆうくの ゆ おのとて うらよ おこあす べきやを あう  
めふぐ くめよ これと ことと あんぢよ めき おこる。 16 あんドの  
おくぎ あうとよ おわひ ある もれ あり、 すあらち その おくぎ

第四章

かくのよ わりとあらわれ、かまはわりとさざーせとせられ、  
かくのつらひをもあらわれ、けんかのうちよりひづくられ、  
かよねりとあらわれ、えりうのところよりけづれさるくり  
**第四章** みくまあまくまよりふ、のちのひよあらうよりもあ  
くま ものありて、りくもりをりふ めのとぎせんよ よりとあ  
らむ さすとあらゆのをへんをきりん。そのりくもる めのとこは  
さる やかくらを ゆち、めとりとうぐことときりんと、あらあら  
じと あこととを きる ゆのく やかくらと うくる やうよ かくの  
つくりする あらくゆのを せんす。かくのつくるところの もれ  
ゆくしやーと これを うけあは まお あー、すら べき むれあー、  
かくの こととと いのりよ よりと きよくせとねのねが あり。  
あらわ もー これとの ことと きやうざのよ おゆまをあが ある  
から あらうの こととと あらわの あらざの あらざひくる あら まへんとよ  
う。 あらわど さざりある もあーと がくじーむ むー があーを

さけと さげうとを あんじんすること あるトセ。 8 そのあとへ  
さげうの えきあり、 されど あんじんいきの りのち まくらの りゆ  
のやくそくを えそす さげうの ことよ えきあり。 9 これ まことよ  
して あおねく うそ ばかのこと ござり。 10 されど これら さめよ  
ちくと まくらそくりを うそ、 それ されど あんじんの すくひゆ、  
ひとよ あんじんの すくひゆ、 ある つけらる かみよ のをと あれば  
さらまと ひとよ まくらーをする こと あられ、 さぞ ことをと ねと  
ひとと ありと あんじんと まくらまとよ おりと あんじんの  
こと あんじんと あれ。 11 あんじん さげうと まくらまとよ おりと あんじんの  
こと、 まくらの ことよ まくらつけよ。 12 あんじん ある ところの まく  
らす あんじん あげよ あり ある とくろの まく  
りと あんじん まくらめくらの つとめと ねとくらる あられ。 13 あんじ  
ん す あんじん あげよ あり ある とくろの まく  
らめくらの つとめと ねとくらる あられ。 14 あんじ  
ん す あんじん あげよ あり ある とくろの まく

をへくとよきをつけよ、めりこねよつじけ。あんぢめくあまうべ  
えびわじとあんぢをきくゆのとをすくふあとん。

**第五音**

とへありとせむることあうれ、とくこれとすくめと  
ちくのどくよせよ・<sup>2</sup> ひくきひとりきやうざりのどくよ、  
ねりくらをんあいはくのどくよ、ひくきあじんかああごとよ  
をめりくらをんあいきよなよねりてをんあきやうざりのどくよ  
せよ。やもめのあいくくやもめあるものにそれとうやくふ  
べー。ゆー やもめよあじゆあうひんあおあうばあうくふ  
そのりくよあすべきのつとめとおやよむくゆることととあト  
もせよ。これかくのくとくうよめあふことあり。あいくくやも  
めよとひどりのこれらものにかくのぞととらひるねぐ  
ひとひめりをつねよす。されどくのくとあーひくよする  
やもめんりけるヒリくらをあくらるあり。めのととげあき  
ものとあるやうよこれとのことをりよーめよ。ひとゆーその  
名なまのくめ、あーとおのれのりくのくめよとあくをする

こととおこくまりあだそのひとにあふうをすうもゆのよと  
あーんトやよりああやあーく。  
ろくおのきりよりこくきやもめんやもめのあふぐによのす  
べうトキ。<sup>10</sup> のすべきのやもめんひどりのをのとのつまあり  
ゆのよとよきおこくまりのきくあるもの、すみもちあどもを  
そがく、さびどとをやどとせ、きくきもものあーとあうひ、あや  
みのひととくすけ、つとめてもうもうのよきおこくまりよ  
ゲのーものあるべー。<sup>11</sup> ひくきやもめをうくるあうれ、そん  
かれどきり唐とよそむきてああドやうをゆふうすとまへとう  
げんことをわのすねばあり。<sup>12</sup> めのとへもドめのあんtronと  
すよよりてつまよさダメトれん、<sup>13</sup> めりくらをめぐりておと  
うもきだりひ、さかののとよめくもり、りよあうときこととりふ  
あり。<sup>14</sup> このゆゑよそれこくきやもめんとうぎとおどもとま、  
りくとをきめ、めりてあよそーるべきのおりとすくふを

あるふぐることをわけす。<sup>15</sup> そんすくよむきをめぐらさるるよ  
あらぐひくるものあれがあり。<sup>16</sup> ゆーあるするところのをあらよ  
やもめあとばらげうじこれとさすくべ。きやうくきりよおゆ  
かとおもすづらじゆ。きやうくきりよめくやもめあるものを  
さすけぬぐくめあり。

<sup>17</sup> ゆくをさむのとへよりじゆあるだけてみことをとぞ  
くよつりそもとく ゆのじゆひぢりてこれと、うやあくよ  
されるものとすべ。 <sup>18</sup> そんせりあまよりくり、あらぢくく  
うをあはするところのうよくうどをもむるあられと。ある  
りくり、もとく ゆのとそのきうきんとうくみへうべありと。  
<sup>19</sup> とくよりよつりそうりくらることあるも ふきんのあふうく  
あんあらびこれとうくるあられ。<sup>20</sup> つみをもうす ゆのあとば  
わらのゆのくおをくく やうよひとびとのあくよおれとこれと  
りあしめよ。

<sup>21</sup> されかとあをきりきとくとおむる つりくらうとの

あくよおれとあらぢよめりす、あらぢくれとのことをあゆい、  
もやありさをくあられ、あくめくよりてあわざとをゆする  
あられ。<sup>22</sup> めうがろくひとよあふくゆれりとほどとすあられ、  
ひとのつみよあげらるあられ。まげうじとあまりてきくくせよ。  
<sup>23</sup> ゆもやまくらげうじとのゆすとてあらぢのゐのくめあるある  
ちのあをくのやまひのくめよおどすのをすくくもちゆ  
づく。

<sup>24</sup> あるひとのつみあまとうよあとそれさまだらくさせよ  
ゆく、あるひとのつみあとよあらぢゆく。 <sup>25</sup> わくのひとく  
よきねくあひもあらぢよあらぢくとあり、あうとぎるおこ  
ひゆかくらくこととえす。

### 巻六 章

すぐそくびきのあくよあるところのあらぢゆおのれの  
あらぢゆとあらぢくうやあくよくれるものとすべ。さすれば  
かみのあとそくへけげきれきるあり。 <sup>26</sup> あんトやあるあゆ  
トんとめらるあらぢよくらじのきやうづのあるゆゑとゆりて

このをめうるることありれ、とおをうくるものんあんじゆる  
てありせらるゝものあるゆゑよあへてこれよつらふべー。  
あんぢこれのことをそへすめよ。

<sup>3</sup>されり もへわらのものをそへて日れのきをあをきり  
生とのさゞへきことをとあんじゆつりのをそへをうけぐも  
すがべ <sup>4</sup>そのひとくさうぶりをゆりてあけられ、ああごどくも  
あトキ、さゞぎうんとことをのあとうひとよおひてとくらふる。  
<sup>5</sup>されよ おひてねくミ・あとをひ、そり、あしきすりりゆう、  
おあびこくうおと一およてあととをもあれくるひとすあをち  
あんじんりえのくめとおもふゆのくさううんおとるあり、  
<sup>6</sup>あらうりとりへどもくることをありてあんじんするいおあひ  
あるりえきあり。7 されといああをもよな ゆちきくはざりき、  
ある ああをも ゆちさることあうをす。8 あふくあうと きゆれ  
あうばこれよてうれりとすべー。9 それ、とあんことをわにする  
ゆのへあどきー、ひき、あく めうるのことをりあきがのあるの

よくすあをちひとをあうびめりがうよねがうすようよめうり  
あり。10 めねを めうがうの よくいすべの あうのねあり。ある  
ひとくされをあくかてあふうよりああひ あく めうもうの めう  
11 まねど あんぢかみの ひとよ、これの ことを まけて さう  
しまこと。あんじん、あんじう、あい、さくへーのびまく あうを  
ねひ ゆとめよ。12 あんぢあんじうの ゆき ふうりひを まくうかて  
めぎりあきりのちと えんことを つとめよ。あんぢれこねぐくめ  
よめーと めうむりあるおあくのあふうくあんのあくよおりて  
うのかみのあん、おあびほんておひふせよ ゆき あうーと さくうる  
あも きり先のあくよおりて あんぢよめりす、14 あんぢれ  
トの まも あを きり先のあトモるよりくる あで あと あく、  
せむ べき とくろ あくこのおまくと あゆるべー。15 さりもひある  
ひどりの 志はのするものある こくの こく きくみの おの  
のとまよ おあびて その あトまれを あめさん。16 めぎり あま

○一 て も て ざい 六 お や う 6

九百十

りのちと むぐる めのれのと、ちうじくことを えざるのひう  
りよすむ、すみもひとのりあど えざる ところ かづること  
あるを ざる ところのものあり。わまねと せぎり あまの ちうじく  
めねよきするあり。あめん。

<sup>17</sup> あるぢ その よの とめる ゆのじゆよ、さうある こと あく ある  
さーじうあと ぬたゆど さのそと する こと あく、さう されど の  
さのーその さめよ あらげの ゆれと ゆくらよ うあふ ところのかみ  
を さのミとー、<sup>18</sup> わくせんを おとめり、よき ことよ とー、わどく  
ーを さのーそ、<sup>19</sup> かけ あくあら ことを よろくび、<sup>19</sup> ある あくと  
ある りのちを うる やう わのれの さめよ よき どざりと つみて  
みとりの ときの さめよ そあくん ことを めりせよ。

<sup>20</sup> ても てよ、あるぢ みだりある むとみの ことば あさりのりて  
ちー身と あぐくる ところの そんまりの ことを させて あるぢ  
ゆだねト れー ところの ことを あゆる ベー。<sup>21</sup> ある ひとん ざねよ  
あうぐひ あふうの ことよ つりて あやなれり。ねぐもくん みみ  
ぐみ あふぢと とくよ あづん ことを。

ぱうろ ても てよ ねくねる ざの あのかみ



を

き

り

き

を

と

よ

る

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と</

うのかみのさすゑをもげおすことをされあるぢよねゆを  
あえ。そんかとされどよおそれのこもうをさげけず、ふちう  
とありとあじめとのこもうをさげけさあぐり。<sup>8</sup> あるぢされ  
とのまみのあうーとそのめーうどあるされどよつりてもぐる  
ことあられ、ふくわみのちうどよあさぐらてあらのふのさめよ  
されととよくうーとをあらぐ。されされどをすくひ、さくさき  
めしとものせりさあぐり。そんされとのねらひよすゑ  
あじゆ、そのみどろとよのあくよゑをきりもどよおりとされ  
じよくすくひーとどうのめだらとよあるあり。<sup>10</sup> いはそのめぐ  
ういされどのすくひーゑをきりもどのあくをれよりとあト  
もれぐり。されにゑをもぐーあるりのちとくらぎることく  
あくりんよおいてあすくもよあじもーさあぐり。<sup>11</sup> されこの  
あくりんのさめよせりかやうじや、おーや「ひづるの」志ーあう  
とさざめられぐり。<sup>12</sup> されよおいてされされとのくらうと  
うく、されどさうとせす。そんされさくもかするとどうのめぐ  
れり、されどさうとせす。

されあるうをあり、めくやうあうするとこうのめぐれを  
のひよつるまであゆりうることをありとあるすねばあり。  
<sup>13</sup> あるぢゑをさりむとよあるあるうとありとめりてされあり  
きくーとこうのくらーきことのひあぐをさあつべー。<sup>14</sup> めく  
あるぢよくらーうるよきことくられとのうちよすむとこうの  
きくまみくまよありてられとあるべー。  
<sup>15</sup> あおああるゆのくみあされよそむきーことくあるぢくわ  
あれり。そのうちよふげるとへるもげぬあり。<sup>16</sup> ねぐもくらき  
おねしやろのりくよあもれをされよあるくと  
あもくべされとあぐさめり、あるくがあもれをもぢとせず  
<sup>17</sup> めくらてるまよありーとくさくせのをつくーされとさぐーと  
きることとよりされり。<sup>18</sup> ねぐもくら、れめのひよまみの  
え廻そよくるとまよされよつくーことくりくをくらや、あるぢ  
あくられをあれり。

## 第三章

ゆゑ、<sup>1</sup> わか、<sup>2</sup> あよ、<sup>3</sup> あらが、<sup>4</sup> 無き事とあるめぐみよ  
おりてつまうれ。<sup>5</sup> やくもうちの、<sup>6</sup> おもうことわんの、<sup>7</sup> あくよおりて  
されより、<sup>8</sup> きけるところの、<sup>9</sup> こねと、<sup>10</sup> うの、<sup>11</sup> ものの、<sup>12</sup> ちへ  
うるところの、<sup>13</sup> ちうきあるひとよ、<sup>14</sup> くくせよ。<sup>15</sup> あらが、<sup>16</sup> 無き事と  
との、<sup>17</sup> もの、<sup>18</sup> へりそりくるもの、<sup>19</sup> これと、<sup>20</sup> ともよ、<sup>21</sup> くろるしを、<sup>22</sup> るのべ。  
され、<sup>23</sup> へりそりくるもの、<sup>24</sup> これと、<sup>25</sup> ともよ、<sup>26</sup> くろるしを、<sup>27</sup> るのべ。  
され、<sup>28</sup> へりそりくるもの、<sup>29</sup> これと、<sup>30</sup> ともよ、<sup>31</sup> くろるしを、<sup>32</sup> るのべ。  
され、<sup>33</sup> へりそりくるもの、<sup>34</sup> これと、<sup>35</sup> ともよ、<sup>36</sup> くろるしを、<sup>37</sup> るのべ。  
され、<sup>38</sup> へりそりくるもの、<sup>39</sup> これと、<sup>40</sup> ともよ、<sup>41</sup> くろるしを、<sup>42</sup> るのべ。  
され、<sup>43</sup> へりそりくるもの、<sup>44</sup> これと、<sup>45</sup> ともよ、<sup>46</sup> くろるしを、<sup>47</sup> るのべ。  
され、<sup>48</sup> へりそりくるもの、<sup>49</sup> これと、<sup>50</sup> ともよ、<sup>51</sup> くろるしを、<sup>52</sup> るのべ。  
され、<sup>53</sup> へりそりくるもの、<sup>54</sup> これと、<sup>55</sup> ともよ、<sup>56</sup> くろるしを、<sup>57</sup> るのべ。  
され、<sup>58</sup> へりそりくるもの、<sup>59</sup> これと、<sup>60</sup> ともよ、<sup>61</sup> くろるしを、<sup>62</sup> るのべ。  
され、<sup>63</sup> へりそりくるもの、<sup>64</sup> これと、<sup>65</sup> ともよ、<sup>66</sup> くろるしを、<sup>67</sup> るのべ。  
され、<sup>68</sup> へりそりくるもの、<sup>69</sup> これと、<sup>70</sup> ともよ、<sup>71</sup> くろるしを、<sup>72</sup> るのべ。  
され、<sup>73</sup> へりそりくるもの、<sup>74</sup> これと、<sup>75</sup> ともよ、<sup>76</sup> くろるしを、<sup>77</sup> るのべ。  
され、<sup>78</sup> へりそりくるもの、<sup>79</sup> これと、<sup>80</sup> ともよ、<sup>81</sup> くろるしを、<sup>82</sup> るのべ。  
され、<sup>83</sup> へりそりくるもの、<sup>84</sup> これと、<sup>85</sup> ともよ、<sup>86</sup> くろるしを、<sup>87</sup> るのべ。  
され、<sup>88</sup> へりそりくるもの、<sup>89</sup> これと、<sup>90</sup> ともよ、<sup>91</sup> くろるしを、<sup>92</sup> るのべ。  
され、<sup>93</sup> へりそりくるもの、<sup>94</sup> これと、<sup>95</sup> ともよ、<sup>96</sup> くろるしを、<sup>97</sup> るのべ。  
され、<sup>98</sup> へりそりくるもの、<sup>99</sup> これと、<sup>100</sup> ともよ、<sup>101</sup> くろるしを、<sup>102</sup> るのべ。

さる ものし さめよ すゞもの こととを おのぶ。そん めねト おも  
よ おりて すゞひと めぎり あきの えりうだとを うけーめん さめ  
あり。<sup>11</sup> この こととおも あもとと あり、すゞもち されト ゆー め  
とくよ ああば ある とくよ いきん。<sup>12</sup> ゆー ともよ くくーのびあ  
とくよ おほの する ものと あくえ。 ゆー めれと ひあきあば めね  
きれトを いああん。<sup>13</sup> されへ あらせざる もの ある めね  
りのまぐる あらせ ぐせ もの あり。 そん めね おのれの ことと  
りひけすこと あくえや。  
<sup>14</sup> あらが これとの ことと ひとびとよ おもとしめよ。 ゆー きく  
ゆのと あどをす ところの もえきの ことをよ つりて あどをひと  
せざる やう きみの あくよ おりて これと いあーめん。<sup>15</sup> あらが  
おく あくとの みくとをと こうち みぎうと そぢ あきの そくと  
ある むえきの そあーを せけよ。 そん これと あも ものへ あすすす  
あらが じふの ことよ すすあん。<sup>17</sup> めねとの こととおも うけをの さと

○ニモテミニニモヤウ 2

九百十六

くよ くともえ。その うちよひめあいねあび 韶をとあり。<sup>18</sup> めれ  
くも あもとよつりそあやあり、おもぐくりの こじかすぐよすぎ  
くりとりひそあるひとびとの おもくうを くうぐくをあり。<sup>19</sup> おも  
れども かみのすゑ くみひーやく くきどきりへ くちそりんの おもく  
あり、りもく、おもい ねのれよ だくする ものを あり くおもと。  
ある、すぐそ きみの あを とあくる ものへ おぎ あり とおぐうる  
べーと。<sup>20</sup> それ くりけよ ねりそら まくさんざんの うしののと あとす、  
ある きや めもくだけの うしも り。うれとまよ ゆぢゆる ゆじ  
ありりやーきよ ゆぢゆる ゆじよ あり。<sup>21</sup> ゆゑよ ひと ゆー うれ  
との あーき ことを さけそ みうくじそり せば その ゆのへ  
うけとまよ ゆぢゆる うしもと あり、きみーそ、おのじんの ゆぢ  
ひと ありそ すぐそ おき ことを あせよ そあくじる べー。<sup>22</sup> あるが  
ようねんの ゆくを さけそ、きみき こまろ オリ きみを よび ゆと  
むる ものと とゆよ ふだーき うと、おもくう、あい、おづやうを  
ねひ ゆとめよ。<sup>23</sup> ねうり ある むぐくの ぎうんへ あともひを おやう

きる ことと ありて こじよ とくわざりる べー。<sup>24</sup> それ、きみの あもぐ  
おとあーく あくを くを あく、めく おのぶ ことと あー、<sup>25</sup> さう  
くふ もの あく あくを ゆじそ これ それを いはむ べー。かと あるひく  
そえ、<sup>26</sup> あく ざく おの むねを あせん あめよ ゆねよ とくよ セトれ  
くする ところの もの そめそ その どまより つぐる ことを えん。

第三章

ある が すえの ゆよ そり あくの とまの まくじん ことと おれ  
よ。<sup>2</sup> その とき ひとびと こくくー する ものと あり、あく おねを  
こね、わくり、ゆあえ、けぐー、おやよ あくう、ねふを おとす、  
けげれ、<sup>3</sup> おもくじ やう、やもくじ ゲぬ、ざくー や、もくじ、むどき、  
せんを ふくみ、<sup>4</sup> うにぎり、むくふくす、くわぶり、あく かみを  
ありする より ゆくのーみと ありー、<sup>5</sup> おもくじ オの すぐる あれども  
その とくと する ものと あーん、ある が かくの どとま ものを  
さけよ。この とく ぐくの うちよ ひそ の りくより そ、つみを ねひ

さなぎの よくよ あらひ つねよ まわぐじゆ あるとの ちーきよ  
さむすること あらもぐる おううある なんあるとを とりこよする  
ものあり。 8 やんねと やんぶれども うせを こむるーどとく そのひと  
びとも あことを こむる・ われどく こむろ けげれと あらうう あり  
うをさる ものあり。 9 あうねども われどく もとや すくは ことを  
えさる ザー・ そひ めの あくりの ものよ ありー ひとく われどの  
ねうりある ことも すべしの ひとびとよ あらもる づけねば あり。  
10 あらぢい カゲ そーへ、 おとあひ、 こくうぎー、 あらうう、 かく  
のび、 あひ、 あらうん、 11 ねあび カゲ あんとおまえ、 いこによ、 まるで  
らよ くる とき あひー とくろの せめ くまーきよ あらうぐり。 カゲ  
あひー とくろの せめ うううう せめ ことじとく  
そのうち あり うれを すくひり ザー あくへり。 12 すべと 空をきり  
きとよ わりと あらト うれを もいて おを こまくと うけする もの  
のあと 余せめを うけん。 13 されど あらあんと ひとを あらとす もの  
のあと 余せめを あくへり ありて ひとを あらとく、 そくうとく ある

あやむらすあり。16 あんぢ ああびそ あらとと 出る ところの  
ことと あゆり つづけ。17 あんぢされ あり ああびーうを あり、  
15 やう あんぢぞーを カーとく あとめ 無を せり出そと あんぢする  
の あんぢうよ ありて すぐひと うくまよ ひかじーめ うる とく  
うの せりあを あうねんの とき あり ある ことを かとねば あり。  
16 それ せりーあん すべそ かみの うくせんよ ある もの あれば  
をーへ、いふ一め、アドス ことあくおと ああぶ ことよ えき あり。  
17 これ かみのひと かけあく すべそ の おき ことを ねくあか あり  
かき ゆのと あよん あめ あり。

第四章

いける ものと 無せる ものとを 分かうかとするところの  
心を まことに あらわすと そのまことに あります から おもひ  
心を まことに あらはねりて これあるがよめりす、 ごみことを  
せの事やうせよ、 おりあると おもねりあきと おもこれを つと  
めよ。 もう もうの すぐのびと そくとを ものて そりさめ、 とぎめ、  
すしめよ。 ひとびと そぐへき そくへと そりねぞ、 そくへて ことある

こととこの中の ことありて オのぎ よくよ あらぐひ ゆあらのち  
 ゆうどもとありめ、<sup>4</sup> あるその こととあるとありと とあきけを  
 むち一 もち一 も草を めんとあらきくさん。<sup>5</sup> されど あるぢれ  
 すぐもの ことよ おりとめを さかへ、 くましもを おめび、 ぐる  
 どう一 ゆの まととまを あして あるぢの つとめと ありくふせよ。  
<sup>6</sup> されば あきよ あつりよ せとねんとす、 さく おを さくの ときれ  
 ちうきよ あり・<sup>7</sup> されば おき さくわひ、 さく さびぢを  
 つまー、 あらううを あめりめり。<sup>8</sup> さく一 き さくが あんある きみの  
 わの ひよ おりと されよ さすもん とくうの さく一 きの からむり  
 りよ あり さく さめよ さめくじる。 され されよ さすの とあるとす、  
 あく すぐそ されの あととれを あくと とくうの ものよも さす  
 ある あり。

・ あるぢ すみやうよ されよ きくふ ことと つとめよ。<sup>10</sup> でま  
 こね よを その と されを すと おきして さるよけよ ゆけり。 ある くれ  
 せけんが ト て あよのま、 て せんだるま て あよのまくり、 さくの か

の き されと とゆよ なる。<sup>11</sup> あるぢ あるこを つれそ とゆよ さくね、  
 つるそせり。<sup>12</sup> あるぢ まくる とき とろあせよ ある あるほの いりくよ  
 えりの とー おきくらる うきぎ、 おとび あふめ、 とりをけ あめー  
 ぐその わふを ゆら さくね。<sup>14</sup> やうや ある あき きさんでるへ されよ  
 ゆうゆうの あーき ことと あめり。 また その ねとあひよ あらぐひを  
 されよ あらみ ふくもん。<sup>15</sup> あるぢ ゆ されよ きを つけよ、 されれ  
 おわひよ されとの きへよ さくじくり。<sup>16</sup> され ちくめ うりくよ  
 さくゆる とき され ゆ さくと あくす、 まき されを すと  
 おきくり。 され すめよ されとの つまぞとれぎとえことと ねぐふ。  
<sup>17</sup> あるぢ ゆ きと されと とゆよ さくと されを つよめり。 そん  
 せのま やすの こと されよ たりて あくとくつまぞり、 あく いどふ  
 きーを まき きく一 めなぐ さめ あり。 あく一 て され あくの うち  
 ありすくひ うがはれり。 <sup>18</sup> きくへ ある すぐもの あくと あり  
 されと すくひ うがはり て その ての みくす いねあぐ さめよ されを

ありふれども、そりうへむれよきとよも おんぢのよ  
トん・あめん。

<sup>19</sup> あんぢびり走とあくとおぬしやろのりくのものとよ よう  
いく ゆうせ。<sup>20</sup> えらせどんこりんとよ とどりありさり。せろむせん  
やめると もりて それこれとみきとよのこせり。<sup>21</sup> あんぢあゆの  
まくまきねよ まくらることとつとめよ。ゆがる あんぢよ ようしく  
ゆうす。ぶでん、せせ、くづつであねよび あまきやうづのゆ ま  
あうり。<sup>22</sup> ねぐもくい まく「魚をきり身と」あんぢのくまととくよ  
あり、みめぐと あんぢととくよ あくと ことと。

## はうろとよ おくれる あく



りより あきのかくあくゆる よの あくよ やぎり あき  
りのちを やくそくし、やうとまよ およびて そのみく  
とをせのきやうよおひと あくとーくねば、きねとのすくひゆ  
あるかみのめりよ よりて そのせのきやうのつとめを あくせうれ  
ふるとくろのかみのあくべ、すあをちかみのえくびびとをーと  
そのゆぎりあきりのちを のぞむことよつりを あんううを えく  
くめ やく あくドくよ あるとくろのあくとを あくとーむる あめよ  
あを あく身とのあくと あく これ はうろ、おあと あんうよ  
つりそめ けげ あくとのあ あると とよ あくと おくら。ねぐもくい  
あくと、おづやうあくと とくよ あく あく あく  
<sup>5</sup> され あんぢと くれてよ とくめ おまへん あんぢとーと あく  
とくろの ことと さざめーめ わくひぐめのせー とく あく あくよ

おりて とーありどもを うそりめんぐ さめあり。 6 とーありは とぐ  
おづきことあく、ひとりのつまむをりとあるもの、あくも うう  
あくひい うそりある ことよつりその うのくへ あきるふうする  
あどゆと あるものあるべー。 7 それゆゑとくらかみの いくらうさ  
あれば とぐわ べき とくろ あく、已ぐある あく、ゆうぐうーく  
りうじす、が下うーゆを まーす、うろ こととせす、ふぎの まう  
けと むきがくす、 8 まえ まびとを ねんじろすし、せんを こかき、  
ひらくめ あり、 9 まーき、まかき ゆのまーと おのれよ めち、  
あくを 10 うれする あくとの こととを くわらものあるべー。  
これ まーき を 11 くを めにて すま もることあく ひさうじふ  
ゆのまくを 12 りひこめる ことを くわら さめあり。 10 そん おなまの  
まがりある ゆの、むえまの ことと かく ゆの、あく あきむく  
ゆのあり。 われとく ゆ内むと かうれりの ゆのあり。 11 そん うち  
とだめじる べき あり。 われとく あぎの まうけの さめよ まーく  
あトき ことを まーくを ウカのぢうと うづくまく。 12 そん  
わる

ごくのひそりの おけふー りりー ことあり、くれてびとん つねよ  
りうそりを 13 りふ ゆの、あーきけめれ、がー ゆう ある うりー あく  
ありと。 13 この あーーん あくと あり、ゆゑよ これを まびーく  
とぐわ べー。 14 そん われと ゆだやの むらー がーーと あくと あり  
ありぞせうる ひとびとの りそーめとよ こううと おせすーと あく  
うよすく やう あく なぐ さめ あり。 15 ひそぎみまき ひとよ おわらと すべとの もれ まか ひそぎまく、  
されど けぐれする ゆの ふーふー よおりとく あく ひそぎまく、  
れあー。 われと の こううと わふーふー ひげれぬ けぐれまく。  
16 われとく カミを あると まびと うりー うりー ひげれぬ けぐれまく。  
これと ひめ。 これ あく べき ゆの、 そむく ゆの、 あく すべとの  
よめ こと あり うそりする ゆの あり。

**第一章** われど あんぢん まーき を まーく よ わあふ とくろの ことを  
せうりて、 2 わの うる ゆの へ つまーと あく、 あトめ、 ひらくめ  
あり、 あく あんぢん と あくと かみまくとよ すく やう あく こと、  
○ て せ ざ 一 が や う 2

あるおりのをなんあるぎみけんをせず、ふりへゆをうへます、  
おとあるひよおりてきみむかことよめあるもの、せんとそーゆる  
ものとありて、<sup>4</sup> さうきをなんあるひよ、かみのことをのけぎれ  
ぎらやうをゆとをありて、あぐもとありて、<sup>5</sup> まくひりへめあり、  
そのせり、りくよおりてもくじた、あがをおとあるひ、からねの  
れのをゆとよもくらふべきとそーへんことをすみめよ。<sup>6</sup> ある  
からきひとひりくじめあるやうよこれとすみめて、<sup>7</sup> あるぢ  
みげうとすべのことをおりてよきおとあるひのてわふとあり、  
そーへんよおのくらひくさがるきこと、あため、あるつみせられざる  
ところのふだーきことをあともせよ。<sup>8</sup> そんやくさのもの已れ  
とよつりそりゆべ事のあくをえゆーそみげうとそらべ。  
・あもぐくそのあゆじんよふくーそすべのことをおりて  
これをおうとをしめ、りひけすることをせず、日々くーせず、<sup>10</sup> さく  
ありうきちうぎをあともすやうよこれとすみめよ。そんわれと  
すべのことをよおりてきねうのすうりゆーあるかみのそーへんを

めぐらることをえんさめあり。

11

すべのひとびとのすうりとうぶきかみのめぐらしすくは  
あともれて、<sup>12</sup> きねとうぐふくふとせけんのよくとすくは、そー  
あるよく、そぞーくあるあくじくとせけんのよくとすくは、そー

のをむとくろのさうりとせけんのよくとせけんのよくとすくは、<sup>13</sup> やう  
あるゑをきりきのをくらうのあともれをあさんことをそーゆ。

<sup>14</sup> きりきをくられとあぐあくとあぐあくとあくもうのつみよりゆー、  
ゆうねのくふをゆうてせんとおこあくものすあくちおのれよ

ぞくするたまをきよめふぐよめよおのれのミをさくげなり。

<sup>15</sup> あるぢこれとのことをゆうりあるすみめ、すべのけんを  
もれてりきめよ。されうあるぢをゆうへすることありれ。

**第三章** あるぢひとびとをすみめて、おほいあるけんをよく、  
つうくよあるぢ、もうもうのせんをおこあくことよあうのを  
あー、ひとをそーへす、あぐをもれ、そーおをあーへしてひとび  
とよすべのようをあともせんことをおがくよせよ。もうう

されどもおちり、そむき、まよひかるゆのうへそもうゆうのよく  
とまのーみよつうへ、うとそねくみをもいてよをなうりまくわ  
べきゆのさり、やらあひなぐひよあくめり。・されどされとの  
すくひゆーあるかものめぐみとあんげんをありすみのあいあト  
もれーとまよ・かれされとくあーまうなうーきのおとあひよ  
よくす・。うどおのれのあもれまよあくぐくとうおれゆモリの  
あとひ・すあもちされとのすくひゆーゑをきり先とよありて  
されとのうへよゆううよそくぐとくうのきよみくまのあくト  
くすることをゆけとされとすくひくまぐり。・これ、されと  
そのめぐみよゆけとされとくまーきとせんれ、めぎりあきりのちの  
の谷みよあくぐくとようびとあくねうめあり。

8 そのことおへあことあり。・されあんぢだれとのことよ  
つくりておきりよあうーせんことをやけす。そんかみをあんずる  
ものどものつみーみをよきねそあひとあんぞくせんぐさめあり。  
されとのことへおーあくひとよをきあり。・されどおちりある

ぎあん、けりう、あくそり、あくお草くよつりそのそうるふを  
さけよ。これとくむあーきことよーてむえきあり。  
10 おゆーうよあくぐくゆのりうどあくわくめまでりまーめて  
のらへこれとくわざけよ。11 そんめくのどときゆのんみちより  
だくべーつみをもくーてそくぐくとつみすることをあんぢんちる。  
12 されあるておあらひにてきこをあんぢよつうをせんときあんぢ  
みこほりよおりとされよきくするなどをつとめよ。そんされゆー  
くよおりとあゆとすどきんとくうろをせざめり。13 あんぢゆー  
ぎてせあとりへるきやうがうーねよひあほるをうびよおくり  
と行ーきことあうトーめよ。14 らされとのきやうがりよみけト  
ぎるこののあきやうよよきおこあひをあんぞくーとひうまうの  
ことくげよそあくんことをああもしめよ。

15 されととゆよをるものとああんぢよよろーくもうす。ねぐ  
もくへるおんうよおりとされをありするものどもよよろーく  
ゆうすべ。みめぐとあんぢとすぐくのものととゆよあくね  
ことをねぐふ。

○ 紅葉山

ばうる ひきもんよ ねくれる かま



おきり生との さめよめーうどん ある ばうろと まやう  
ぱのと もて なれしが ありする どうやく おきせん ある  
を おきぬうざりの ありびや、 および なれしの どうと ある きほ あ  
びよ ある ちの うづの きやううどん よ あまを ねぐる。 ねぐも う  
れしの ちと ある かと おき おきり生と より ある うどん  
めぐと おでやう あじえ こと。

「西門あがむらさきをあわせとくのと  
ゆくるところのありとあらうのこととおもへねどりのると  
あらぢをねむひりびーつねよコドカラミよおやーとあらぢ  
ともよあづうるところのあらううひされうぢきりまよありそ  
ゆくるすべものよきこととひとびとよあづ一めでえがする  
ものとあらえこととねづふ。  
」きやうぢうよ、これあらぢのありのためよおやひよみろとび

あらざめり。そん まへの めの こゝろ あんぢよ ありて やすらせ  
トれられべ あり。⑧ ゆゑよ され まきりを よおひて だつて まくと  
よおーきよ やあくる ことを あんぢよ めのト うふと りんじゆ  
ありの ゆゑを ものを かくと あんぢよ ねぐふ。⑩ されらうどん  
ばうる りよ 無を まきりを の くめよ めーうじよ あれの ゆゑの  
じとき ゆの あとの うちよ わりて うみー ところの こぢ あおね  
しもの くめよ あんぢよ ねぐふ。⑪ され かうと あんぢよ えきする  
ところ あうりき、されど いすれ あんぢと されどよ えき あり。  
⑫ され われを あんぢよ わくす、あんぢ されを せぢ わんぢの だとう  
みて うけよ。⑬ あくの くめよ せぢ うくる ところの あそ  
めの うちよ わりと され あんぢよ やまきりて されよ つうゆる やう  
され これと とどめ おうふと わけせり。⑭ されど あんぢの あやう  
ち あくべ され やく することと こめおぞ。そん あんぢの おき  
ことと やもを えきするよ おじよ、かく こゝろの わけする あくよ  
あくねぐ さめ あり。⑮ それ われが あをすくの あひよ あんぢを

もあれへん わをとくに あんぢりの なやも われをうけんこめあり。  
されど ゆもや あゆびの ごとく せせ、あゆびを こゑを あゆする  
きやうびの すみもち ふくさりよ つりこむ きみの ことよ つりこむ  
もあもぎ されよ ありせよれ、あーて あんぢよ ありせよる きやう  
びの ごとく せぐ。 17 あんぢ ゆー されと とゆと せば されを  
うくらうび ごとくよ われを うけよ。 18 めれ もー あんぢよ かぎを  
あせー こと あるひに わふ とくろ あゆび これを されよ きすべー。  
され これ つくるもん。 され ぱうろ てぐうと これ あらす。  
そん あんぢの みゆ されよ おふ とくろ ありと りふよ あゆび。  
きやうびのよ、されを と きみの ことよ ねりて あんぢより うの  
ーみと えせー めよ。 きりまどよ ねりて せう こまちを あぐせめよ。  
21 され あんぢう あやうちせん ことを あつく あんぢ、 あんぢの あす  
ことく こだりよ とくろ おりゆ すぎん ことを ありて これ ある  
ぢよ の せおくる。 22 やく あんぢ せう さめよ やどる とくろ そあ  
くよ。 そん され あんぢうの りのりよ うけで され あんぢトよ

あくへんれん こととの ごむ。

あくへんれん こととの ごむ。  
23 爰を きりまどの ごめよ されと とゆよ とくろ うる ゆの えは  
あくへんれん こととの ごむ。 まるご、ありせたるご、てま、るゆ えは  
あくへんれん こととの ごむ。 25 ねぐをくく せうの きみ あをき  
あくへんれん こととの ごむ。 あくへん ことを、あめん。